

タブレット活用レシピ集



1学年版

1年生 国語科	単元（活動名）	はなしたいな ききたいな	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

●目的 ・発表の時の声の大きさや速さ，姿勢や目線などを意識させる。

●利用する機能等
 ・カメラ機能
 ・大型テレビ

●活用の流れ

- ①教師が，発表の時の様子を班ごとにカメラの動画機能で撮影する。
- ②HDMIケーブルで大型テレビにつなぎ，児童に見せる。
- ③発表児童や他の児童に「よかったところ」「アドバイス」を発表させる。
 ※必要に応じて，画面を止めたり繰り返したりする。
- ④全部の班について①～③を繰り返す。
- ⑤アドバイスをもとに練習する。



②タブレットを大型テレビに映して見せる



③友達にアドバイスする。

●教師の働き掛けや児童の様子

★画面に自分たちの姿が映ることがうれしくて，みんな熱心に映像を見て，発言していた。
 ★児童の発言の内容に応じて，映像を一時停止したり，繰り返したりして確認できた。児童が気がつかない点も，教師が話しながら，映像を見せることで，子どもたちに意識させることができた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

教師が操作に慣れていないと，全員分を一気に撮影するのは難しい。班ごとに撮影した方が失敗が少ない。見せるときもファイル操作や一時停止や場面戻しがやりやすい。複数台で撮影して班に一台ずつ渡し，グループでアドバイスし合わせると，話し合いがより活発になり，時間節約にもなる。

★実践した感想

1年生 国語科	単元（活動名）	おおきなかぶ	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
 - ・ 「おおきなかぶ」の音読について、お互いの音読の様子を動画で撮影し合い、良くできたところやできていないところを話し合うことを通して、友達の良いところを生かして上手に音読できる。
- 利用する機能等
 - ・ ジャストスマイルカメラ

● 活用の流れ

- ① 「大きなかぶ」（東京書籍）を音読する。
- ② グループ内で音読の様子を録画する。
- ③ 動画を何度も見直す。
（ジャストシステムのカメラのアプリを使用すると、撮影後に自動的に再生される。）
- ④ 良くできたところ、直すべきところを話し合う。
- ⑤ 改善点を修正し、もう一度音読をする。



①音読の様子を撮影し合う。



②動画を見ながら話し合う。

● 教師の働き掛けや児童の様子

国語の「おおきなかぶ」でタブレットPCを使用した。2・3人1組の小グループに1台タブレットPCを配付し、お互いの音読の様子を撮影し合う。動画の撮影は、PC内のカメラアプリを使用し、再生プレイヤーはPC内のものを使用する。動画は、何度も見直すことができる。撮影した動画を何度も確認することで、「声が小さかった」「、や。で止まらずに読んでいた」「姿勢が悪い」などの改善点に気づき、友だちのアドバイスをもとに音読を改善していた。

● 本レシピのワンポイントアドバイス

1年生でも活用できる。
1年生でも、電源の付け方とカメラ機能だけを教えれば、使用しているうちに活用できる。また、同じ動画を見ることで、話し合いの観点も絞られるため、児童もスムーズに活動することができた。本実践は、7月に行ったものなので、ぜひ参考にさせていただきたい。

★実践した感想

1年生 体育科	単元（活動名）	表現リズム遊び	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

- 目的
 - ・ 学習発表会でのダンスの動きを確認する。
 - ・ YouTubeを視聴する。
- 利用する機能等
 - ・ インターネットサイト
 - ・ 動画撮影・再生機能

●活用の流れ

- ・ 視聴させたいサイトをあらかじめお気に入りに入れておく。
- ・ タブレットを教室の大型テレビに接続する。
- ・ 子どもたちに見せたいダンスの動きを遅い速度に設定した動画を視聴させる。
- ・ 動きの確認ができれば、徐々に再生の速度を上げ、踊りの練習をする。



●教師の働き掛けや児童の様子

動画の速度を変えることにより、しっかりと動きを確認してから踊れるので抵抗感がなくなり楽しく運動をすることができた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

サイトの動画の再生速度を簡単に変えて見せられることがよい。（少しずつ難易度を上げていける）
踊れるようになったら、今度は、カメラ機能で、児童のダンスの様子を録画し、再生して見せることで、自分たちのダンスのどこを直せばよいのかを振り返らせることができる。手本の動きを確認することも、児童の動きを録画再生することもタブレット1台でできる。

★実践memo

各学年 音楽科	単元（活動名）	楽器練習における視覚化	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

●目的 ・ 楽器や演奏の様子などを大きく映し出し、児童の理解を支援する。

●利用する機能等

- ・ カメラ, Windows Media Player
- ・ ジャストスマイルクラス「マーカー」「くらべる」

●活用の流れ

●下学年向け

- ①用いる楽器(鍵盤ハーモニカ, リコーダー等)の全体がはっきりと映っている写真を撮影する。
- ②タブレットの画面をテレビに映し出し, テレビ画面上の楽器に指を置きながら説明する等, 児童の動きと同じ動きを示す。
- ③必要に応じて, 「マーカー」で, 基準となる位置等に, 画面上に印をつける。

●上学年向け

- ①優秀な児童の演奏の様子(指の動き等)を動画で撮影する。
- ②タブレットの画面をテレビに映し出し, 段階別練習等において, 必要な児童をテレビの前に集め, 真似させながら練習させる。
- ③必要に応じて, 「Windows Media Player」の再生速度変更機能を用いて, 速度を落として練習させる。



●教師の働き掛けや児童の様子

手元の楽器と同じものを見ながら練習できるため, 一斉指導で十分に習得できる児童の割合が増える。教えあいを促したり, より個別指導に重点を充てたりすることができる。

撮影する写真・動画は, 児童の手元の見え方に考慮し, 向きや角度を工夫して撮影するとよい。

●本レシピのワンポイントアドバイス

ジャストスマイルクラス「くらべる」を使うと, パート混合練習や, 複数グループに分かれての練習に応用することができる。パートごとの動画を, スタート位置を合わせて同時再生することで, それぞれの児童が自分の該当するパートの演奏を確認しながら, 同時に演奏することができる。また, 別々に再生することもできるので, タブレットの台数が少ない場合でも, 習熟度ごとのグループに1台ずつ渡して, それぞれのペースで練習させることができる。

★実践memo